

- ◇ ブックスタートなど、家庭・地域・学校における子どもの読書活動を推進するとともに、北海道の歴史や文化に関する体験学習や森林や木製品を活用したワークショップの開催等及び様々な場面での食育の普及等に取り組んできました。

〔 ・ 子どもの読書活動を推進する「ブックスタート」は98市町村（平成20年度）で実施されていますが、さらなる普及促進について検討する必要があります。
・ 小学生の歴史・生活文化の体験活動や木育、食育の普及が進められていますが、今後、一層の取組の充実について検討が必要です。 〕

- ◇ 思春期対策として、保健所における思春期相談、母体保護、ピアカウンセリング、思春期保健ネットワーク等により、性や薬物等に対する正しい知識の普及等に努めてきました。

〔 ・ 思春期における課題は複雑であることから、地域の関係機関地域ネットワークによる支援の一層の充実について検討が必要です。
・ 近年は特に薬物の問題が増加していることなどから、薬物乱用防止教育などの対応が求められています。 〕

⑧児童虐待防止対策の充実

- ◇ 児童虐待防止対策を重点施策とし、虐待予防ケアマネジメント事業等による未然防止や養育者支援保健・医療連携システムによる早期対応を図るとともに、専門職員の増員など児童相談所の体制や機能の強化、地域における児童虐待専門研修や受入研修を行い、市町村への支援の充実などを図ってきました。また、地域における連携体制の整備に向け、「要保護児童対策地域協議会」の設置促進に努めてきました。

〔 ・ 児童虐待の相談処理件数が年々増加するとともに、困難事例も発生していることから、次の点について積極的な検討が必要です。
・ 児童虐待への迅速・的確な対応を図るための児童相談所の体制整備
・ 養育者支援保健・医療連携システムによる医療機関からの積極的な情報提供、母子保健事業における養育支援や乳児家庭全戸訪問事業・養育支援訪問事業の推進、妊娠葛藤（妊娠に関する悩み）の相談体制整備など、虐待予防ケアマネジメントシステムの体制整備
・ 地域社会全体で取り組むための市町村における要保護児童対策地域協議会の設置と効果的な活用 〕

⑨教育環境の整備

- ◇ 結婚や子どもを生き育てることの喜びなどを子どもたちに伝えるとともに、教育環境の整備を図るため、道内の大学生を対象とした少子化対策等の講義や、生徒の興味・関心、進路希望等に応じた魅力ある高校づくりを推進するほか、家庭教育相談体制、体験活動の充実などを図ってきました。

〔 ・ 大学生を対象とした次代の親づくりのための教育については、平成18年度から実施していますが、ニーズも高く、実施地域の拡大について検討する必要があります。
・ 個性を生かした学校教育の推進、家庭及び社会教育の充実を図るなど、教育環境の整備等に向けた検討が必要です。 〕